おいしさと健康
Glico

第112期
報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

江崎グリコ株式会社

Glicoの企業理念

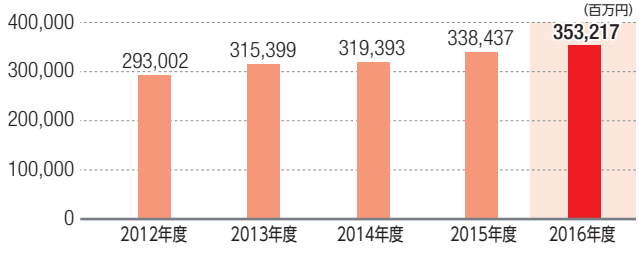
おいしさと健康

おいしさの感動を、
健康の歓びを、
生命の輝きを

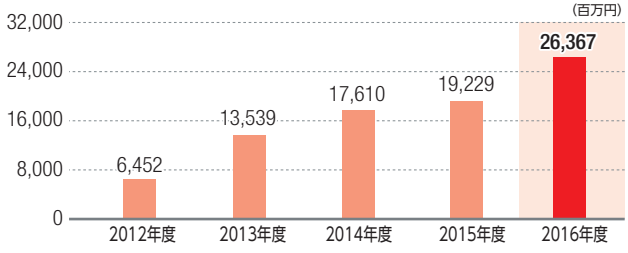
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

財務ハイライト ▪ 連結

売上高



経常利益



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第112期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、期初に熊本地震が発生して経済に与える影響が懸念されましたが、雇用・所得環境の改善が続き、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続きました。食品業界におきましては、原材料価格は比較的安定していましたが、個人消費は力強さに欠け、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開しました。

その結果、売上面では、牛乳・乳製品部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、食品部門が前年同期並みとなり、冷菓部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は353,217百万円となり、前連結会計年度(338,437百万円)に比べ4.4%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や菓子部門、食品原料部門の売上原価率の改善等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、牛乳・乳製品部門の構成比率のダウンによって運送費及び保管費率がダウンし、広告宣伝費も減少しました。その結果、営業利益は24,254百万円で、前連結会計年度(17,110百万円)に比べ7,144百万円の増益となり、経常利益は26,367百万円で、前連結会計年度(19,229百万円)に比べ7,137百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は18,147百万円となり、前連結会計年度(13,903百万円)に比べ、4,244百万円の増益となりました。

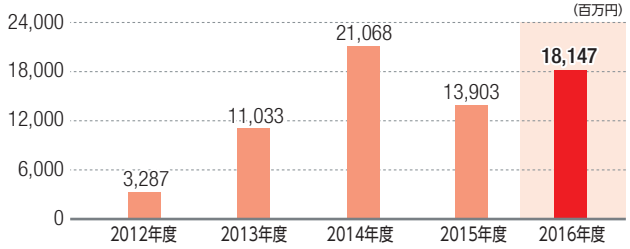
なお、配当金については、中間配当(1株につき20円)に加え、期末配当として普通配当20円、記念配当10円の1株につき30円とさせていただきました。当社を取り巻く環境は益々厳しくなってきておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

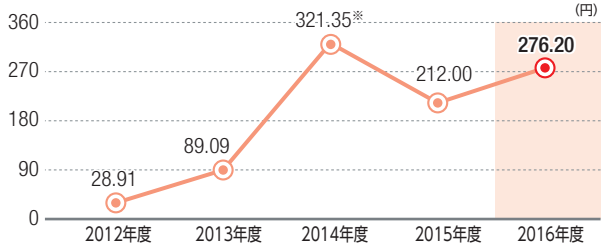
2017年6月

取締役社長
松崎勝久

親会社株主に帰属する当期純利益



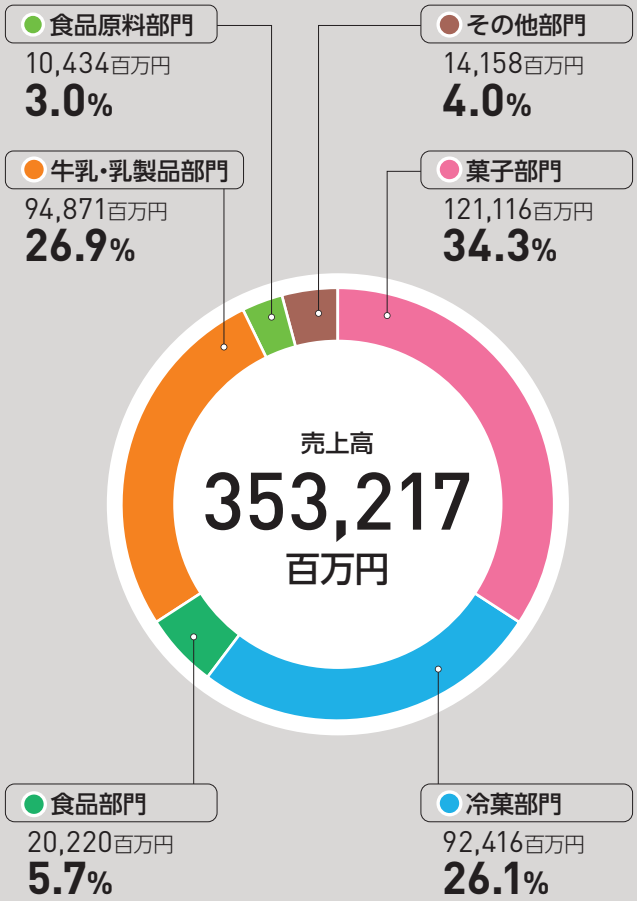
1株当たり当期純利益



※2014年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、2014年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

セグメント別の概況・連結

セグメント別売上高とその割合



菓子部門

121,116百万円

［前年同期並み（121,157百万円）］

売上面では、国内は機能性表示食品の“LIBERA（リベラ）”“GABA（ギャバ）”が好調に推移し、“カプリコ”“バンホーテンチョコレート”等が前年同期を上回り、全体では前年同期を上回りました。海外は、中国を除く子会社は前年同期を上回りましたが、中国子会社は前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は121,116百万円となり、前年同期（121,157百万円）並みとなりました。

冷菓部門

92,416百万円

［前年同期比14.1%の増収］

売上面では、主力の“パピコ”“牧場しぼり”“アイスの実”等が前年同期を上回りました。また、Glico Frozen（Thailand）Co.,Ltd.及び新たに連結範囲に含めました正直屋乳販（株）の売上が上乗せとなりました。その結果、当連結会計年度の売上高は92,416百万円となり、前年同期（81,004百万円）に比べ14.1%の増収となりました。

食品部門

20,220百万円
[前年同期比0.2%の増収]

売上面では、“熟カレー”等が前年同期を下回りましたが、“カレー職人”“クレアシチュー”等は前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は20,220百万円となり、前年同期(20,183百万円)に比べ0.2%とわずかながら増収となりました。

食品原料部門

10,434百万円
[前年同期比1.9%の増収]

売上面では、「澱粉」等は前年同期を下回りましたが、“A−グル”“E−スターチ”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は10,434百万円となり、前年同期(10,242百万円)に比べ1.9%の増収となりました。

牛乳・乳製品部門

94,871百万円
[前年同期比3.0%の減収]

売上面では、“BifiXヨーグルト”「粉ミルク」、キリンビバレッジ(株)の受託販売を行っている“トロピカーナ　エッセンシャルズ”等は前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”“ドロリッチ”等が前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は94,871百万円となり、前年同期(97,821百万円)に比べ3.0%の減収となりました。

その他部門

14,158百万円
[前年同期比76.3%の増収]

売上面では、“アーモンド効果”が大幅に売上を伸ばしたほか、「オフィスグリコ」や、“カロリーコントロールアイス”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は14,158百万円となり、前年同期(8,029百万円)に比べ76.3%の増収となりました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

（単位:百万円）

	前連結会計年度（2016年3月31日）	当連結会計年度（2017年3月31日）
[資産の部]		
Ⅰ 流動資産	**131,335**	**170,199**
現金及び預金	50,941	96,018
受取手形及び売掛金	35,113	36,832
有価証券	11,395	3,238
商品及び製品	12,451	13,460
仕掛品	865	894
原材料及び貯蔵品	13,578	13,457
前渡金	657	15
前払費用	156	316
短期貸付金	108	87
繰延税金資産	2,563	2,515
その他	3,556	3,409
貸倒引当金	△54	△47
Ⅱ 固定資産	**143,639**	**153,919**
（有形固定資産）	**82,577**	**89,382**
建物及び構築物（純額）	22,489	31,599
機械装置及び運搬具（純額）	28,379	33,717
工具、器具及び備品（純額）	3,557	3,594
土地	15,711	15,763
リース資産（純額）	415	261
建設仮勘定	12,025	4,445
（無形固定資産）	**4,053**	**5,702**
ソフトウエア	2,365	4,530
その他	1,687	1,171
（投資その他の資産）	**57,008**	**58,834**
投資有価証券	37,922	39,842
長期貸付金	1,142	1,065
長期前払費用	141	226
退職給付に係る資産	1,963	2,534
投資不動産（純額）	12,402	12,363
繰延税金資産	406	474
その他	3,080	2,378
貸倒引当金	△52	△50
資産合計	**274,974**	**324,118**

	前連結会計年度（2016年3月31日）	当連結会計年度（2017年3月31日）
[負債の部]		
Ⅰ 流動負債	**76,795**	**75,426**
支払手形及び買掛金	28,396	29,200
短期借入金	5,218	1,126
1年内返済予定の長期借入金	501	486
未払費用	25,107	26,024
未払法人税等	2,179	3,701
販売促進引当金	1,675	1,795
役員賞与引当金	41	38
BIP株式給付引当金	56	89
ESOP分配引当金	1,366	—
その他	12,253	12,963
Ⅱ 固定負債	**19,027**	**50,257**
転換社債型新株予約権付社債	—	30,146
長期借入金	501	644
退職給付に係る負債	10,927	7,846
繰延税金負債	3,104	5,646
その他	4,494	5,973
負債合計	**95,822**	**125,684**
[純資産の部]		
Ⅰ 株主資本	**163,968**	**180,435**
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,816	9,049
利益剰余金	155,190	170,706
自己株式	△6,811	△7,093
Ⅱ その他の包括利益累計額	**9,623**	**12,014**
その他有価証券評価差額金	7,949	11,318
為替換算調整勘定	2,646	896
退職給付に係る調整累計額	△973	△200
Ⅲ 非支配株主持分	**5,560**	**5,984**
純資産合計	**179,151**	**198,434**
負債純資産合計	**274,974**	**324,118**

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015.4.1~2016.3.31)	当連結会計年度 (2016.4.1~2017.3.31)
Ⅰ 売上高	338,437	353,217
Ⅱ 売上原価	183,904	188,086
売上総利益	**154,533**	**165,131**
Ⅲ 販売費及び一般管理費	137,422	140,877
営業利益	**17,110**	**24,254**
Ⅳ 営業外収益	4,112	3,545
Ⅴ 営業外費用	1,993	1,433
経常利益	**19,229**	**26,367**
Ⅵ 特別利益	1,816	536
Ⅶ 特別損失	83	411
税金等調整前当期純利益	**20,962**	**26,492**
法人税、住民税及び事業税	6,272	6,847
法人税等調整額	325	836
法人税等合計	6,598	7,683
当期純利益	14,364	18,808
非支配株主に帰属する当期純利益	461	660
親会社株主に帰属する当期純利益	13,903	18,147

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015.4.1~2016.3.31)	当連結会計年度 (2016.4.1~2017.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	**17,658**	**29,563**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△13,773**	**△14,059**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△10,061**	**24,213**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△1,218**	**△1,489**
現金及び現金同等物の増減額	**△7,395**	**38,228**
現金及び現金同等物の期首残高	**59,406**	**52,010**
現金及び現金同等物の期末残高	**52,010**	**90,238**

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2016年4月1日　至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	7,773	7,816	155,190	△6,811	163,968	9,623	5,560	179,151
当期変動額								
剰余金の配当			△2,631		△2,631			△2,631
親会社株主に帰属する当期純利益			18,147		18,147			18,147
自己株式の取得				△949	△949			△949
自己株式の処分		1,233		667	1,901			1,901
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,391	423	2,814
当期変動額合計	―	1,233	15,516	△282	16,467	2,391	423	19,282
当期末残高	**7,773**	**9,049**	**170,706**	**△7,093**	**180,435**	**12,014**	**5,984**	**198,434**

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2017年3月期 重点取り組み結果

国内事業

※1:インテージSRI　※2:アイスクリーム流通新聞社

カテゴリー	計 画	結 果	市場規模
チョコレート	●主力ブランド強化 「ポッキー」「カプリコ」「神戸ローストショコラ」など ●健康訴求チョコレートのプレゼンス向上	・「カプリコ」「神戸ローストショコラ」は前年比10%以上の伸び ・機能性表示食品のチョコレートである「GABA(ギャバ)」「LIBERA(リベラ)」が増収に大きく貢献	市場規模※1 (16年度) 2,896億円 (対前年104.5%)
ビスケット	●主力ブランド強化 「プリッツ」「ビスコ」「コロン」など ●おつまみスナックのブランド再生	・市場が伸び悩む中、「プリッツ」はほぼ前期並み ・おつまみスナック市場の縮小により、「チーザ」「クラッツ」は苦戦	市場規模※1 (16年度) ※スナック除く 1,524億円 (対前年99.5%)
冷菓	●主力ブランド強化 「ジャイアントコーン」「パピコ」「17アイス」など ●既存ブランドの強化 「パナップ」「アイスの実」「牧場しぼり」など ●「大人のアイスシリーズ」の定着、高付加価値化	・主力ブランド(「ジャイアントコーン」「パピコ」など)、既存ブランド(「パナップ」、「アイスの実」など)とも大幅に増収 ・高付加価値の「大人のアイスシリーズ」が好調に推移し、2016年度下期の収益性が改善 (P.11もご覧下さい)	市場規模※2 (16年度) 4,930億円 (対前年106.5%)
発酵乳/牛乳・乳飲料	〈発酵乳〉 ●「BifiX」の機能をさらに訴求し、販売を強化 〈牛乳・乳飲料〉 ●「カフェオレ」シリーズを中核ブランドとして経営資源を投入	〈発酵乳〉 ・「BifiX」全品のパッケージに「お通じ改善」を訴求するリニューアルを実施し、商品の回転を向上 〈牛乳・乳飲料〉 ・専用品の取りやめにより、大幅に減収	市場規模※1 (16年度) 〈発酵乳〉 3,979億円 (対前年103.6%) 〈牛乳・乳飲料〉 5,655億円 (同98.1%)
洋生菓子	●主力ブランド強化 「プッチンプリン」、「とろ～りクリームon」など ●「ドロリッチ」のブランド再生	・「プッチンプリン」の基幹品(「Bigプッチンプリン」、3個パック)は好調に推移 ・「ドロリッチ」は2017年5月リニューアル発売 (P.10もご覧下さい)	市場規模※1 (16年度) 647億円 (対前年98.7%)

3ヵ年　売上高推移

単位:億円

●当社チョコレートカテゴリー合計

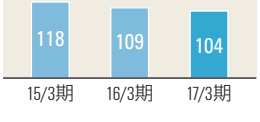
●当社ビスケットカテゴリー合計
※ガム、キャンディー除く

●当社冷菓カテゴリー合計
※卸子会社売上含む

●当社発酵乳カテゴリー合計

●当社牛乳・乳飲料カテゴリー合計

●当社洋生菓子カテゴリー合計



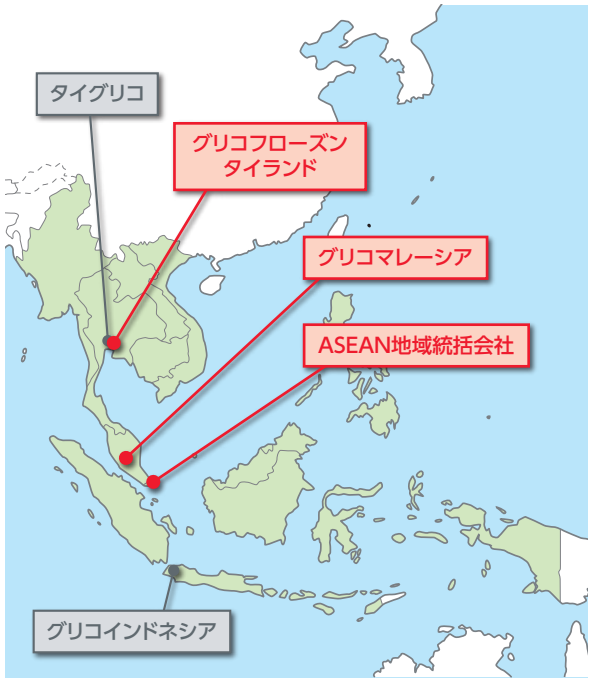
グリコグループが2020年の目標達成に向け、重点取り組みに掲げている「強い商品カテゴリーの創出」と「積極的な海外展開」について2017年3月期の取り組み結果をご紹介します。

海外事業

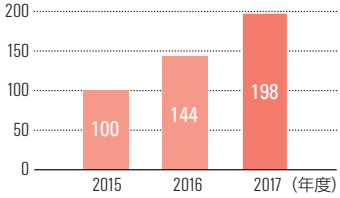
■ASEAN市場

重点地域と考えるASEAN地域での事業拡大を図るため、以下の取り組みを進めています。

1. 成長するASEAN市場において消費者から支持されるブランドの確立と事業拡大を加速させるため、2017年6月1日付でASEAN地域統括会社を設立しました。
2. マレーシア駐在員事務所をマレーシア販売会社に格上げし、2017年7月から事業を開始する予定です。
3. タイ冷菓事業の生産能力増強を2017年6月に完了しました。生産能力は約3倍になる見込みです。



●マレーシア事業の売上推移

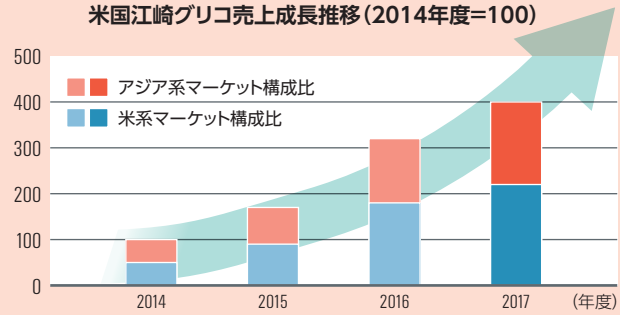


注1:2015年度の売上金額を100としたもの
注2:2016年度まではタイグリコからの売上金額
注3:2017年度はマレーシア販売会社の売上金額見通し

■米国市場

1. アメリカ市場をターゲットとする現地法人「米国江崎グリコ」の売上は、2014年度から2016年度にかけて3倍超もの成長を果たしました。
2. 2017年度の売上はさらに2014年度比4倍に達する見込みです。

米国江崎グリコ売上成長推移(2014年度=100)



新製品のご紹介

健康

おいしさにこだわりながら糖質と カロリーをおさえた※、カラダを愛するアイス

[SUNAO]
〈バニラ〉〈チョコクランチ〉〈ラムレーズン〉
〈バニラソフト〉〈チョコモナカ〉

バニラビーンズシードやラムレーズン、生クリーム、といった素材のおいしさにこだわりながら、とうもろこし由来の食物繊維と豆乳を使い、糖質をオフ※。
カロリーもうれしい80kcal。
カップ3品（バニラ・チョコクランチ・ラムレーズン）、バニラソフト、チョコモナカの5つのおいしさ。
毎日食べたいアイスです。
※日本食品標準成分表2015ラクトアイス（普通脂肪）と比較。

乳業

まったく新しい
飲む濃密“マリアージュ体験”

[Dororich]
〈バニラクリーム&カフェ〉
〈クリーミーカスタード&ベリー〉

特許製法により、クリーム・ジェリーが容器の中で完全に混ざることのない状態となり、ストローを通じて絶妙に重なり合い、素材それぞれの味わいを楽しむことができる飲むスイーツです。
それに加え、リニューアルにより『ふわっ&とろり』とした新食感と、これまで以上に濃密でクリーミーな味わい、そして底に加えたソースにより一層本格的な味わいに生まれ変わりました。
忙しいときも手軽にこころおきなくお飲みいただくのにちょうど良い容器サイズ、内容量へ変更し、更には持ちやすさを追求した容器デザインもポイントです。

新製品のご紹介

冷菓

濃厚感、品質感、素材感にこだわった〈大人のアイスシリーズ〉

[ジャイアントコーン]〈大人のメロン〉
[パピコ]〈大人のメロン〉
[パナップ]〈大人のメロン〉

メロンを贅沢に使用し、大人も満足できるワンランク上のおいしさに仕上げました。

●ジャイアントコーン
赤肉メロンの上品で深みのある甘さ。
ココアワッフルコーンを使用。

●パピコ
国産メロン使用(5.0%)。甘く香る濃厚でなめらかな味わい。

●パナップ
凍結濃縮果汁を使用。絞りたて果実の味わい。

加工食品

温めなおしてもできたて食感! 惣菜の素

[できたて革命]
〈豚もやしのうま味噌炒めの素〉
〈なす鶏そぼろのあんかけ炒めの素〉
〈鶏大根の中華風黒こしょう炒めの素〉

グリコの独自技術により生まれた「つるるん調味料」が野菜を包み、美味しさを閉じ込めます。冷めても野菜から水が出にくく、レンジで温めなおすと、できたての食感が楽しめます。
家族の夕食時間がバラバラでも、まとめて作り置きでき、いつもおいしくお召しあがりいただけます。

アイクレオ

奥歯の生えはじめた
1歳頃からのお子様に

[1歳からの幼児食]
〈豚と野菜の和風あんかけ丼〉
〈白身魚の八宝菜〉
〈ツナの和風パスタ〉

「1歳からの幼児食」は咀しゃく練習期に十分配慮した具の大きさや形・固さに加え、味覚形成期に配慮したうす味仕上げのレトルト食品です。

①咀しゃく練習に適した具の大きさ、形、固さ
②味覚形成に配慮したうす味
③10種類の野菜とカルシウム、鉄入り
④着色料、保存料、香料、化学調味料　不使用

1日分の鉄と亜鉛が
これ一本で補給できる

[毎日ビテツ]
〈キャロット&アップル〉〈フルーツミックス〉〈オレンジ〉

1日分の鉄分と亜鉛がこれ1本で補える栄養機能食品(鉄・亜鉛)。毎日続けていただきやすい味わいと飲みきりサイズにリニューアルしました。
鉄・亜鉛のほかにも葉酸、カルシウム、食物繊維、ビタミンCがとれるおいしい栄養サポート飲料です。

※1本(100ml)当たり 鉄7.5mg、亜鉛10.0mgを配合。

NEWS ニュース

2016.10.1—2017.3.31

グローバル統一キャンペーン “Pocky day”（ポッキーディ）各国で大盛況

「Share happiness!（シェアハピネス）」をブランドメッセージに掲げるポッキーは、11月11日を“Pocky day”とし、しあわせを分かち合う日にしたいと考えています。

2016年11月11日、ポッキー発売50周年を機に、初めてグローバル統一の“Pocky day”キャンペーンを日本だけでなく、台湾、中国、マレーシア、インドネシアでも実施しました。SNSの特設サイトに上げていただいた笑顔の写真を数える企画を実施し、各国合わせて14万人以上にご参加いただきました。

今後も11月11日を“Pocky day”として世界でキャンペーンを実施することで、ポッキーのさらなる拡販を目指してまいります。

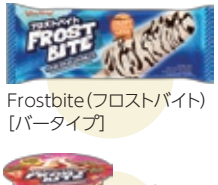
インドネシアでアイスクリームの販売を開始

インドネシアにおいて、2016年11月からアイス事業を開始しました。アイス事業の海外展開は、2016年1月のタイでの販売に次ぐものです。

インドネシアで製造・販売する製品は、全て現地向けのオリジナル製品です。『Waku Waku（ワクワク）』、『Frostbite（フロストバイト）』、『Jcone（ジェイコーン）』、『Haku（ハク）』の4ブランド全16品目です。全品インドネシア国内のハラール認証を取得しました。

今後も東南アジアにおける事業の拡大に積極的に取り組んでまいります。

Waku Waku（ワクワク）

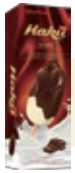


Frostbite（フロストバイト）［バータイプ］

Frostbite（フロストバイト）［カップタイプ］

Jcone（ジェイコーン）

Haku（ハク）［もなかタイプ］



Haku（ハク）［バータイプ］

江崎記念館が「都市景観資源」に登録

江崎グリコ株式会社が運営する企業ミュージアム「江崎記念館」が、2017年3月に大阪市より「都市景観資源」に登録されました。

「都市景観資源」とは、大阪市民が親しみ、誇りともする景観的にも優れた建物などを大阪市長が指定するものです。

「江崎記念館」は1972年3月、当社の創立50周年記念事業の一環として、従業員に創業の志を伝え、社業の発展に寄与するため設立したものです。館内には江崎グリコの歩みに関する資料、製品・販促品をはじめ、創業者江崎利一ゆかりの品々や、創業時から現在までの歴代おもちゃ4,000点など数多くの社史資料を展示しております。ぜひ一度お越しください。

開　　館:月～金曜日（要予約）、
第1・第3土曜日（予約不要）
開館時間:10:00～16:00
電話予約:06-6477-8257
（受付日の10:00～16:00）

グリコの歴史シリーズ 12　アーモンドチョコレート編

HISTORY

アーモンドのパイオニアとしてのこだわり「アーモンドチョコレート」

グリコはアーモンドの存在を日本に広めたパイオニア。グリコが作る「アーモンドチョコレート」には、約60年前から現在まで一粒一粒にこだわるDNAが受け継がれています。

グリコが日本に広めた「アーモンド」

キャラメル「アーモンドグリコ」を発売したのは、1955（昭和30）年のこと。創業者江崎利一がアメリカ視察での経験を活かして開発したこの商品がきっかけとなり、「アーモンド」が日本中に知れわたりました。

グリコが生んだアーモンドチョコレート

1958（昭和33）年に「アーモンドチョコレート」を発売。チョコレートひと山にアーモンドを1粒ずつ入れたのは、日本でグリコが初めてでした。当初、生産工程の機械化が間に合わず、一粒ずつ手作業でていねいに仕上げる生産方法が採用されました。

「アーモンドチョコレート〈フライド〉」の誕生

さらに1969（昭和44）年11月、「アーモンドチョコレート〈フライド〉」を発売。アーモンドを独自製法でフライし、キャンディでコーティング、また左右に開く新形式のスライドパッケージなど、こだわりを詰め込みました。

今までになかった〈フライド〉のおいしさが大評判となり、これを機に日本のアーモンドチョコレート市場はどんどん大きくなっていきました。

受け継がれるこだわりのDNA

2007（平成19）年に〈フライド〉を受け継いだオトナ向けのアーモンドチョコレート「アーモンドプレミオ」を発売。さらに2011（平成23）年には新たに「アーモンドピーク」を発売しました。カリッとした食感が特徴のアメ焼きアーモンドや、くちどけのよい2層のチョコレートなど、一粒一粒にこだわる姿勢は今も変わりません。

これからもグリコは「アーモンドピーク」をはじめとした商品を展開し、アーモンドのパイオニアとしてアーモンドチョコレート市場を盛り上げていきます。

「アーモンド」の名を日本に広めた「アーモンドグリコ」

日本初！チョコレートひと山にアーモンドが丸ごと一粒入った「アーモンドチョコレート」

会社概要 CORPORATE INFORMATION

会社の概要 (2017年3月31日現在)

商　　号	江崎グリコ株式会社
創立年月日	1922年2月11日
資 本 金	7,773,681,654円
営業品目	菓子・食料品の製造および売買。
従業員数	5,210名(連結)
本社所在地	〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

●主な事業所

■ **本社**
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8352

■ **大阪梅田オフィス**
〒530-0018
大阪市北区小松原町2-4　大阪富国生命ビル
電話(06)6130-6839

■ **品川オフィス**
〒108-0074
東京都港区高輪4-10-18　京急第1ビル
電話(03)5488-8170

■ **昭島オフィス**
〒196-0021
東京都昭島市武蔵野2-14-1
電話(042)544-2222

●主な関係会社

グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社
仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
関東グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
東北グリコ乳業株式会社
那須グリコ乳業株式会社
東京グリコ乳業株式会社
岐阜グリコ乳業株式会社
広島グリコ乳業株式会社
佐賀グリコ乳業株式会社

江栄情報システム株式会社
グリコチャネルクリエイト株式会社
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社
正直屋乳販株式会社

Thai Glico Co., Ltd.
Glico Frozen (Thailand) Co.,Ltd.
PT. Glico Indonesia
PT. Glico-Wings
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南奉食品有限公司
GLICO-HAITAI CO., LTD.
Generale Biscuit Glico France S.A.
Ezaki Glico USA CORP.
GLICO MALAYSIA SDN. BHD.

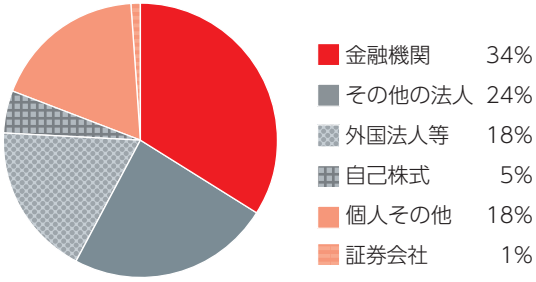
役　員 (2017年3月31日現在)

代表取締役社長	江崎　勝久
代表取締役	江崎　悦朗
取締役	栗木　隆
取締役	大貫　明
取締役	益田　哲生
取締役	加藤　隆俊
取締役	大石佳能子
監査役(常勤)	吉田　敏明
監査役(常勤)	安達　弘
監査役	岩井伸太郎
監査役	宮本　又郎
監査役	工藤　稔

株式の状況 (2017年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	270,000,000株
発行済株式総数	69,430,069株
株主数	18,879名

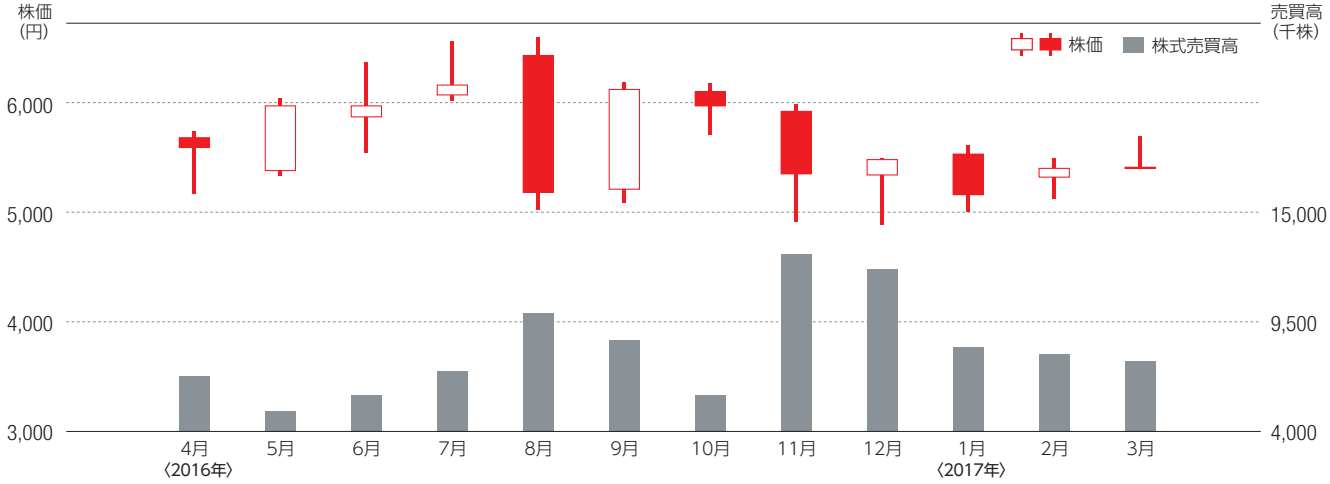
●所有者別株式数比率



●大株主 ※自己株除く ※株式数は表示単位未満の端数を切捨て

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	4,131
大同生命保険株式会社	3,500
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,191
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,965
日清食品ホールディングス株式会社	2,100
佐賀県農業協同組合	1,943
大日本印刷株式会社	1,598
江崎グリコ共栄会	1,529
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,029
大正製薬ホールディングス株式会社	1,010

●株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便の場合	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.glico.com/jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株主様ご優待

株主の皆様の日ごろのご支援に対する感謝の御礼と致しまして、株主優待制度を実施しております。

●贈呈時期　12月上旬ごろ年1回

●贈呈基準　9月30日現在の株主様へ

※3月31日現在の株主様への優待はございません。

100株～499株
市価1,000円相当の
グリコグループ製品

500株～999株
市価2,000円相当の
グリコグループ製品

1,000株以上
市価4,000円相当の
グリコグループ製品

※製品写真はイメージです。

株券電子化後の各種お手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の単元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1. 株式に関するお届出先およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ（17ページ）記載の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先（0120-782-031）にご連絡ください。

お届出先・ご照会先

「ほふり」をご利用の株主様	「ほふり」をご利用でない（特別口座）の株主様
↓	↓
株主様の口座のある証券会社	三井住友信託銀行株式会社

※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2. 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ（17ページ）記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先（0120-782-031）にお願いいたします。

3. 100株に満たない株式の買増・買取をご検討ください

1単元（100株）に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて100株となるように株式をお売りする、もしくは100株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ（17ページ）記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先（0120-782-031）にご連絡ください。

江崎グリコ株式会社

http://www.glico.com/jp/